

2019年5月28日

内閣総理大臣  
安倍 晋三 殿

私は今日川崎で起こった刺殺傷事件<sup>i)</sup>のことを聞き、大変驚きました。私の妻は日本人で、刺殺事件は彼女の故郷、子供の頃通っていた学校で起こったのです。勇敢に子供たちを救うために行動した人物は家族の友人でした。この手紙の目的は、日本における出血性外傷患者の救急治療について貴方に深い関心を持っていただくことです。

トラネキサム酸は出血を安全に減らす薬です。この薬は日本の科学者である岡本彰祐と歌子により 1960 年代に開発されました。2010 年までは出血と言っても大出血にはあまり使われていませんでしたが、2010 年、ロンドンの School of Hygiene & Tropical Medicine の私どもの研究グループが大規模で国際的な試験を実施し、外傷性出血患者に早期にトラネキサム酸を投与することで出血死を 1/3 減少させることを示しました。また、この薬剤は受傷直後に投与することが最も効果的なのです。この理由から、イギリスではトラネキサム酸は受傷のその場でパラメディカルにより投与されています。しかし、日本では、パラメディカルによるトラネキサム酸の投与が法律により許可されていないのです。これは非常に残念なことです。なぜなら、トラネキサム酸は外傷性出血患者の死亡率を減少させることができる唯一の薬だからです。

私は、トラネキサム酸の救命効果の科学的証拠を知ってもらい、この状況を変えるようにと、日本の厚生労働省に日本の協力者たちと共に働きかけてきましたが、うまくいきませんでした。今回の川崎のおぞましい悲劇が何らかの貢献をできるとするのなら、それはこのような状況で人命を救うためにトラネキサム酸を投与することを妨げている法律を再考することでしょう。

このことをしかるべき権威に検討させていただくことを切望いたします。

Ian Roberts

Professor of Epidemiology and Public Health  
Co-Director, LSHTM Clinical Trials Unit

---

i) 川崎市登戸通り魔事件

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B7%9D%E5%B4%8E%E5%B8%82%E7%99%BB%E6%88%B8%E9%80%9A%E3%82%8A%E9%AD%94%E4%BA%8B%E4%BB%B6>